

## 大井町第6次総合計画におけるパブリックコメントに対する町の対応への審議会意見

資料番号	該当箇所	意見概要	意見への対応・修正	担当課
資料1		<p>行政には町についてのあらゆる情報が集積されており、必要に応じタイムリーに情報が開示されている。</p> <p>それでも十分な情報共有が図れないのは、情報を受け取るべき町民サイドにその必然性を認める環境が整備されていないことに根本的な問題・原因があるものと思われる。町政に関心や興味がある町民の方は必要に応じ情報収集に努め、自らの生活や活動に活かしているが、町政に関心や興味を持たない方は情報取得の必然性を感じておらず、目に触れたり耳に入ってきても素通りしてしまう。</p> <p>本来、納税者にとっては自分の納めた税金がどのように使われ、自分たちの地域や生活にどれだけリターンがあったのか知りたいところ。行政に資金はつきものであることから実績や計画案の情報開示には資金使途との関係性を明らかにした予算執行の費用対効果について具体的に説明する形式を試す、また、その予告を前もって告知するなど情報取得の必然性を少しでも認めざるを得ない状況を作り出すのも一案かと思う。納税者が本来知りたいであろう内容の核心に一步踏み込んだ情報開示を展開してみてはいかがか。</p>	<p>委員からのご意見を踏まえ、町の予算公表時における使途や予算額、決算時における支出額や成果などについて、情報の開示方法を検討し、町政に関心を持ってもらえるように取り組んでいきたいと考えております。</p>	企画財政課
資料1	27頁記載の「情報の共有」における「情報の発信」及び「施策の方向」	<p>町の「意見への対応」について、「・・・詳細にわたるため本計画への掲載はいたしません。」や「しかし、本計画においては、それぞれを施策として位置づけ・・・」など本計画に対する異論・反論・新たな提案に対して、ほんの一部ではあるが、つれない回答や消極的な対応に違和感がある。</p> <p>貴重な意見具申に行政として多少なりとも否定的な対応や見解を示されることは意見具申された方の参画意識の芽を摘んでしまうことや周囲へのネガティブな影響も危惧される。</p> <p>理不尽な意見や不適切・不寛容な対応については行政としてあくまでも町民のために毅然とした態度は必要であるが、町政に関心を示す町民の方はまちづくりにとって本町の貴重な財産である。</p>	<p>委員からのご意見を踏まえ、町の「意見への対応」について表現を修正いたします。</p>	協働推進課

資料番号	該当箇所	意見概要	意見への対応・修正	担当課
資料1	27頁記載の「情報の共有」における「施策の方向」	<p>ここの町民の方からの意見は建設的かつ論理的で的を射たものと拝察した。前述でも触れたが、この意見に対して「しかし・・・」で反論されるにはもったいない気がする。</p> <p>この機会に多少ではあるが論理的矛盾を解消し、多くの人に理解される計画にブラッシュアップすることが得策のように思う。協働や情報共有はいずれも6次総合計画を実現するために必要不可欠な手段であり、その手段を目的化することで本来の目的からそれてしまうこともある。手段として整理することができれば、「どうすれば施策が町民に正しく伝わるのか」、「どうすれば協働が図られるようになるのか」など、それぞれの施策ごとに検討し実行できるものと期待される。</p> <p>いずれも協働の在り方や情報共有の内容に個別性が反映されるため、画一的な目標設定はなじまないものと思われる。</p> <p>そもそも、「情報の共有と協働」は6次総合計画を推進するうえで、「情報の共有ができていない」「まちづくりを進めるうえで町民との協働ができていない」という本町が現在抱える喫緊の課題と言える。施策ごとの細やかな対応に比べられるよう6次総合計画において「協働情報共有」を手段として再構築されてはいかかか。</p>	<p>委員のご意見も踏まえ、「情報の共有」について、本計画の各施策を推進するための手段として整理し、「現状と課題」及び「施策の方向」について記載内容を修正いたします。</p>	協働推進課